

● 草内渡し浜親水公園 視察 23日

事務局メンバーの深田、播川、近藤、森島さんたちが事務局会議の後、草内渡しの浜親水公園予定地に完成した通路を視察しました。昨年の8月に2度、魚とりを実行した所です。4年前からこの場所に関心を持って少しずつ、足を踏み入れてきました。激しい雑草が生い茂り全体像がどのようになっているのかもわからず、まさに前人未到的な場所で、人は足を踏み入れていなかった場所でした。聞くところによりますと、川砂を持ち出すダンプが出入りしていたようです。普賢寺川の河口なので、魚の棲み方は豊富できっと魚の子どもたちには最適な場所であろうということは想像できる場所でした。木津川事務所が、かねて里山の会が実行してきた魚とりの場所について悩んでくれ、草内の渡しの浜あたりについて何度も足を運んでいただき、環境調査の適地として望ましいのではないかと歩行者通路の実現を進めてくれました。この場所は年に何回もの冠水が引き起こされ、豊富な栄養にあふれていますので、四季折々において異常なほど雑草の成長が早く大型化する場所です。こまめに手入れを行わないと方角も判らなくなってしまいます。常に草刈りが行われていますと、これほど素敵なフィールドは木津川には見当たりません。しっかり手入れをしていきたいものです。出来上った通路はあくまでも歩行用で、重たい自動車などの通行できる強度には作られていません。ご注意ください。

● 馬坂川清掃 26日 河床の草とゴミと空き缶などを拾い集めました

桜の季節が訪れています。今年は9回目の親子花見乗船体験を3日(日)に開催します。そのために河床に放棄されたごみの拾いと、草刈りを26日の午前中に10人の協力を得て行いました。親子花見乗船体験の初めの頃の清掃活動では單車や自転車の大型ごみを毎年のように引き上げていました。ひどいときにはトラックのタイヤが何本もありましたが、ここ数年こうした大型ごみは全くなりなくなりました。年中ゴミの無いきれいな川になりました。よどもも異臭もなく生まれ変わりました。川が変わったのではなく市民が川を美しくする人に成長したのです。地域の再生が出来上って川を守りはじめています。間もなく楽しい桜の季節ですが、馬坂川が美しい川に生まれ変わったところもご覧になってください。

● グループレンジャー 若手の皆さん 2016年度の活動について協議 13回の活動予定日確認

これまでの2年間の取り組みを振り返り、新しい年度になりますので、小林君や北野君の2人に加えて新人を募集すると、4名の皆さんが名乗り出ていただきました。6名のグループに大きくなりました。爬虫類や水質や魚などに興味を持ち研究する個性豊かなメンバーです。研究や調査から得た知識を、参加してくる地元の子どもたちに、しっかり伝えられればと意欲に燃えています。また年齢も近く親しみやすいお兄さんとして活動しようと、計画を練り上げました。打合せの後、草内渡し浜親水公園を下検分しました。自然いっぱいのフィールドでした。

● 国交省淀川河川事務所の木津川土砂環境検討会が29日に開催

近頃各種メディアが木津川を取り上げています。堤防近くまで洗掘が近づいていることも報じられています。淀川河川事務所では、木津川土砂環境検討会がもたれてきました。29日第3回が開かれ、竹蛇籠のモニタリング結果や短中期的な対策の検討が議題でした。里山の会から山村が出席しました。今話題の崩落現場の対策として公表されている提案について報告がされ、工事の進捗を見守ることになりました。検討会として中期的な対策について検討することにもなりました。

● 京都府地域力再生プロジェクト事業の報告冊子が完成

今年のプロジェク事業の中心は、木津川への竹蛇籠の設置でした。また里山農園でのオオムラサキの観察台の設置でした。この二つの取組の記録冊子がそれぞれ65頁、116頁としてできあがりしました。しっかりした写真を中心に印刷されていてこれまでにない判りやすく迫力満点の冊子です。原価は一部1500円、2400円ですが、内容も写真もいずれも立派なもので、値段に負けないいい冊子となっています。私たち里山の会が自信をもって、提供のできる作品となっています。ぜひ一度ご覧になってください。増刷も可能で

すのでご注文にお応えできます。

● **親子花見乗船体験 3日 満開になるのではないでしょう**

摂南大学 京都大学 摂南大学 同志社大学や滋賀県立大学の学生さんが協力して川や水について学習します。春休みのひと時をお父さんやお母さんと楽しんでみてください。木津川展も同時開催です。展示ではスッポンやナマズの生き物を準備中です。近畿こどもの水辺でのプレゼンテーションのボード、加えて竹蛇籠の実物や写真による木津川植物が展示されます。ご期待ください。

● **アマナの見学会 25日 八幡市** なかなかアマナの開花時期に巡り合えるのは難しく見つけるのも難しいのです。この日は曇りで開花しているところにめぐまれませんでしたが、それでも粘り強く日差しを待っていました。何とか午後には晴れたので目的は達成できたと思います。堤防強化工事の影響で心配しましたが、かなり復活が進み始めているようです。一方イヌナズナはカラシナの勢いに押されて片隅的にか弱い姿でしたが、がんばっていました。しっかり咲き私も生きているよと主張している様です。春の先駆けに出会える楽しい散策でした。

● **2015年度第3回理事会 25日**

2015年度の活動を振り返り 2016年度の活動方針を検討しました。竹蛇籠を組み上げ、設置した取り組みは木津川の本川への巨大な土木工事でした。設置した直後にメダカやオニヤンマのヤゴなどが見つかり、木津川の自然再生への期待が深まりました。11月の増水後には砂が張り付き新しい形成が出来上がってきています。里山農園では教育棟の実現で直接エノキのオオムラサキの蛹の観察が可能になる全国でも屈指の施設が完成させました。そしてそれぞれの記録報告書ができる一年でもありました。しかし会員の減少傾向には歯止めがかからない状況も続く一年でもありました。こうした点を振り返り、新年度への新たな方針案を決めました。

● **農園部会開かれる** 16年度は責任者大村さん会計森島さん庶務小泉さんのトライアングルで運営されます。主な議題は購入したササユリの種による増殖するササユリ問題、これまで善意で耕していただいていたトラクターが使用不可能になった農機具問題、流失した土砂崩壊場所の復旧のための地形変形問題が話し合われました。そして4月5日(火)には昨年にも実施したシイタケの菌打ちの提案もされました。

● **カスミサンショウウオの状況報告** 27日に調査すると連日の晴天で池がすっかり干しあがり、卵塊が一部水中から浮き上がっている状況にあることがわかりました。水の有るところに移動させ、数日で生まれると予想されますので、いよいよこれからが観察を継続しなければならない重要は期間に入ってきます。京都府でも本腰を入れて調査体制を確立すると連絡が届きました。

● **3月度の京田辺府営団地での朝市** 27日午前8時開店で行われました。里山の会はハウレンソウを並べましたが、他店と鉢合わせとなり半数近くが売れ残り残りましたので、100円コーナーに並べました。朝早く引き抜き新鮮な野菜を提供しようと大村さんや芳川さん森島さんや小泉さんが頑張ってくださいました。

● **事務局会議から** 23日に予定していた結成20周年記念は諸般の都合で延期とさせていただきます。

● **春の野菜を味わう会にお越しください** 4月9日(土)午前9時30分普賢寺小学校 10時里山農園 年度最初の取り組みです参加費は一般500円を予定しています。申し込みは不要です。差し入れなど大歓迎です。楽しいひと時をウグイスの声を聴きながら満喫しましょう。

● **椎茸の菌打ちを里山農園で** 4月5日(火)9時30分ごろから行います。40本の原木を用意できました。時間のある方はご参集ください。ご参加をお待ちしています。牡丹鍋で昼食を用意いたします。

● **新会員募集を行っています。ふるって御加入下さい。**